

**訪日外国人等受け入れに対応する
日本型コンシェルジュ育成事業
(専門学校穴吹ビジネスカレッジ)**

H27	中核	
-----	----	--

平成27年度「成長分野等における中核的専門人材養成等の戦略的推進」事業 事業計画書

1. 分野名

⑬観光	「その他」分野名	
-----	----------	--

2. 事業名称

訪日外国人等受け入れに対応する日本型コンシェルジュ育成事業

3. 申請する職域プロジェクト

職域プロジェクト	(1) 職域プロジェクトA (「地域版学び直し教育プログラム」の開発・実証)	○
	(2) 職域プロジェクトB (「特色ある教育推進のための教育カリキュラム等」の開発・実証)	

※申請する取組いずれかひとつに「○」を記入すること。(大学院プログラムは別様式)

「女性の学び直し」に対応する場合、右欄チェック	<input type="checkbox"/>
-------------------------	--------------------------

4. 代表機関

■ 代表法人(申請法人)等

法人名	学校法人 穴吹学園
理事長名	穴吹 忠嗣
学校名	専門学校穴吹ビジネスカレッジ
所在地	〒 760-0017 香川県高松市番町2丁目4-14

■ 事業責任者(事業全体の統括責任者)

職名	専務理事
氏名	大平 康喜
電話番号	087-822-3007
E-mail	yasuyoshi-ohira@anabuki.ac.jp

■ 事務担当者(文部科学省との連絡担当者)

職名	副校長
氏名	佐戸 三千代
電話番号	087-822-3007
FAX番号	087-822-5924
E-mail	michiyo-sado@anabuki.ac.jp

5. 職域プロジェクトの構成機関・構成員等

(1) 構成機関(機関として本事業に参画する学校・企業・団体等)

	構成機関(学校・団体・機関等)の名称	役割等	内諾	都道府県名
1	学校法人 穴吹学園	プロジェクト代表	済	香川県
2	学校法人 浦山学園	調査・開発	済	富山県
3	専修学校インターナショナルリゾートカレッジ	調査・開発	済	沖縄県
4	学校法人 麻生塾	調査・開発	済	福岡県
5	国際外語・観光・エアライン専門学校	調査・開発	済	新潟県
6	オフィスアトランダム	実施、調査・開発	済	東京都
7	成城大学	実施、調査・開発	済	東京都
8	ホスピタリティ研究所H-1	実施、調査・開発	済	大阪府
9	旅館 御園	実施、調査・開発	済	岡山県
10	川村学園女子大学	実施、調査・開発	済	埼玉県
11	有限会社ザ・ライスマウンド	実施、調査・開発	済	東京都
12	喜代美山荘 花樹海	実施	済	香川県
13	ホテル川六エルステージ	実施	済	香川県
14	ホテルモアナコースト	実施	済	徳島県
15	JRホテルクレメント高松	実施	済	香川県
16	ALICE in TAKAMATSU by Queen Alice	実施	済	香川県
17	香川県農業生産流通課	実施	済	香川県
18	高松国際ホテル	実施	済	香川県
19	学校法人 穴吹学園 徳島	実施	済	徳島県

(2) 構成員(委員)の氏名(上記(1)の機関から参画する者及び個人で本事業に参画する者等)

氏名	所属・職名	役割等	内諾	都道府県名
大平 康喜	学校法人 穴吹学園	代表	済	香川県
佐戸 三千代	学校法人 穴吹学園	委員会統括	済	香川県
泉川 恵里	学校法人 穴吹学園	実施、調査・開発委員	済	香川県
神内 朋子	学校法人 穴吹学園	実施、調査・開発委員	済	香川県
梶河 沙耶子	学校法人 穴吹学園	実施、調査・開発委員	済	香川県
亀本 浩史	学校法人 穴吹学園	実施、調査・開発委員	済	香川県
高野 直人	学校法人 浦山学園	調査・開発委員	済	富山県
成底 敏	専修学校インターナショナルリゾートカレッジ	調査・開発委員	済	沖縄県
郡嶋 奨	学校法人 麻生塾	調査・開発委員	済	福岡県
栗林 直子	国際外語・観光・エアライン専門学校	調査・開発委員	済	新潟県
松坂 健	オフィス アトランダム	実施、調査・開発委員	済	東京都
勝又 あずさ	成城大学	実施、調査・開発委員	済	東京都
井村 日登美	ホスピタリティ研究所H-1	実施、調査・開発委員	済	大阪府
今井 真貴子	御園旅館	実施、調査・開発委員	済	東京都
丹治 朋子	川村学園女子大学	実施、調査・開発委員	済	東京都
田村 尚子		実施、調査・開発委員	済	埼玉県
飯塚 正成	有限会社ザ・ライスマウンド	実施、調査・開発委員	済	東京都
三矢 昌洋	喜代美山荘 花樹海	実施委員	済	香川県
宝田 圭一	ホテル川六エルステージ	実施委員	済	香川県
芝野 光	ホテルモアナコースト	実施委員	済	徳島県
杉山 善浩	JRホテルクレメント高松	実施委員	済	香川県
山上 富美夫	ALICE in TAKAMATSU by Queen Alice	実施委員	済	香川県
古吉 貢	香川県農業生産流通課	実施委員	済	香川県
正木 一志	高松国際ホテル	実施委員	済	香川県
市橋 栄治	学校法人 穴吹学園 徳島	実施委員	済	徳島県
飯塚 久仁子	有限会社ザ・ライスマウンド	事務局	済	東京都
仲 めぐみ	有限会社ザ・ライスマウンド	事務局	済	東京都
岡田 大海	学校法人 穴吹学園	事務局	済	香川県

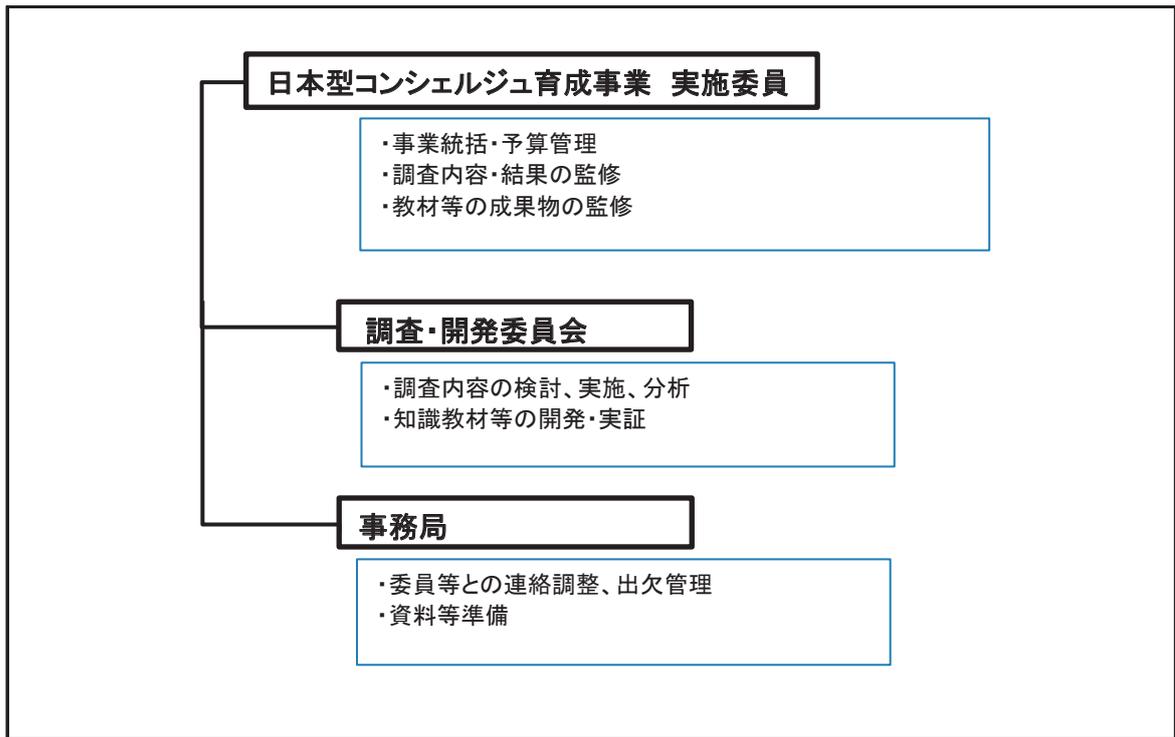
(2)-①実施委員会(構成員(委員)の氏名(上記(2)の者うち本委員会構成員))

氏名	所属・職名	役割等	内諾	都道府県名
大平 康喜	学校法人 穴吹学園	代表	済	香川県
佐戸 三千代	学校法人 穴吹学園	委員会統括	済	香川県
泉川 恵里	学校法人 穴吹学園	委員	済	香川県
神内 朋子	学校法人 穴吹学園	委員	済	香川県
梶河 沙耶子	学校法人 穴吹学園	委員	済	香川県
亀本 浩史	学校法人 穴吹学園	委員	済	香川県
松坂 健	オフィス アトラダム	委員	済	東京都
勝又 あずさ	成城大学	委員	済	東京都
井村 日登美	ホスピタリティ研究所H-1	委員	済	大阪府
今井 真貴子	御園旅館	委員	済	東京都
丹治 朋子	川村学園女子大学	委員	済	東京都
田村 尚子		委員	済	埼玉県
飯塚 正成	有限会社ザ・ライスマウンド	委員	済	東京都
三矢 昌洋	喜代美山荘 花樹海	委員	済	香川県
宝田 圭一	ホテル川六エルステージ	委員	済	香川県
芝野 光	ホテルモアナコースト	委員	済	徳島県
杉山 善浩	JRホテルクレメント高松	委員	済	香川県
山上 富美夫	ALICE in TAKAMATSU by Queen Alice	委員	済	香川県
古吉 貢	香川県農業生産流通課	委員	済	香川県
正木 一志	高松国際ホテル	委員	済	香川県
市橋 栄治	学校法人 穴吹学園 徳島	委員	済	徳島県

(2)-②調査・開発委員会(構成員(委員)の氏名(上記(2)の者うち本委員会構成員))

氏名	所属・職名	役割等	内諾	都道府県名
大平 康喜	学校法人 穴吹学園	代表	済	香川県
佐戸 三千代	学校法人 穴吹学園	委員会統括	済	香川県
泉川 恵里	学校法人 穴吹学園	委員	済	香川県
神内 朋子	学校法人 穴吹学園	委員	済	香川県
梶河 沙耶子	学校法人 穴吹学園	委員	済	香川県
亀本 浩史	学校法人 穴吹学園	委員	済	香川県
高野 直人	学校法人 浦山学園	委員	済	富山県
成底 敏	専修学校インターナショナルリゾートカレッジ	委員	済	沖縄県
郡嶋 奨	学校法人 麻生塾	委員	済	福岡県
栗林 直子	国際外語・観光・エアライン専門学校	委員	済	新潟県
松坂 健	オフィス アトランダム	委員	済	東京都
勝又 あずさ	成城大学	委員	済	東京都
井村 日登美	ホスピタリティ研究所H-1	委員	済	大阪府
今井 真貴子	御園旅館	委員	済	東京都
丹治 朋子	川村学園女子大学	委員	済	東京都
田村 尚子		委員	済	埼玉県
飯塚 正成	有限会社ザ・ライスマウンド	委員	済	東京都

(4) 事業の実施体制図(イメージ)



6. 事業の内容等

(1) 事業の目的・概要

本事業は、訪日外国人に対し、香川県の食文化「うどん」や国際アート振興地域という特性を生かしながら、安心して、快適に、滞在できる宿泊環境を提供するための日本型コンシェルジュの育成を図り、もって香川県の観光振興に寄与することを目的とする。

このことを実現するために、昨年度開発・テストした日本型コンシェルジュ育成教材をカスタマイズし、その教材を利用した講座を開講する。また、日本型コンシェルジュとしての技術・知識といった「スキルコンピテンシー」に加え、そのベースとなる「キャリアコンピテンシー」(資質、素養、態度)を開発するためのプログラムを構築し、実践する。

(2) 事業の実施意義や必要性について

① 当該分野における人材需要等の状況、それを踏まえた事業の実施意義

円安、格安航空会社(LCC)の台頭、入国手続きの緩和、東京オリンピック招致等を起因として我が国を訪問する外国人は平成26年度に1340万人を超えた。香川県においても、これまでの国際航空便であるソウル線に加え、上海線、台北線が相次いで就航したことや「瀬戸内国際芸術祭」をはじめとする現代アートに対する関心の高まりから平成25年4～6月期において外国人宿泊者は17,190人で前年同時期と比較して61.4%の増加が確認され、(観光庁「宿泊統計調査」より)順調に推移していると言える。

しかしながら、香川県を訪れる旅行者の傾向は、70%以上が日帰り客となっており、日帰り客は1人につき6200円程度、宿泊客は約4倍の2万5000円程度の経済効果(「平成25年香川県観光客動態調査報告」から計算、添付資料参照)が見込めるため、宿泊業の魅力を増し、滞在型・着地型観光の強化が望まれる。

②取組が求められている状況、本事業により推進する必要性

本事業では、日本型コンシェルジュを地域の文化や産業等を理解し、本県を訪れるお客様のニーズとの連携役としてこの人材を位置づけ、この人材を地方都市ホテル、旅館、リゾートホテルやビジネスホテルのフロント要員などにも導入することを目指している。

また、日本型コンシェルジュ育成は、ホテル・宿泊業での活躍を目指す者や挺身する者を対象に、県・観光系業界団体、ホテル・旅館などの協力を得ながら、コンシェルジュになるための知識や振る舞いを体系的に学ぶこととしており、このプログラムを実施することにより訪日外国人はもとより、日本人観光客の宿泊に対する満足度を高め、リピート率を向上させることが期待される。

さらに、本事業により開発するコンシェルジュ知識教材は、当校において「コンシェルジュ論」としてカリキュラムに組み込み、定量的に一定水準に達した学生を業界に輩出することや現在業界で働いている者や宿泊業を目指す者に対してモジュール型の教育プログラムとして適用することにより雇用の継続や創造に寄与することが期待される。

③取組実施にあたっての平成25年度までに実施された職域プロジェクト等の成果の活用方針、方法等

・平成26年度に開発したコンシェルジュ知識教材は、知識を身に付けるための教材として検証結果からも一定の効果が認められた。今後さらに、写真、イラスト、図表等のわかりやすい解説を追加することにより教材の充実を図る。また、動画等のコンテンツによる解説を追加することにより、本校はもちろんのこと県内全体に普及させていく。また、本事業に参画する新潟・沖縄地域でもこの教材を利用し、他県での波及についても積極的に挑戦する。

・コンピテンシーディクショナリーの開発は昨年度完成するに至り、またそれを計測するためのコンピテンシーカードソートの開発も終了している。本年度は、ディクショナリーの要素について調査・検証するとともにカードソートの利用活用方法を示すための解説書およびビデオ教材を開発する。また、開発した教材は、本校の「就職実務」の授業にて活用しその内容を実践する。また、実践結果は本プロジェクトに参画する学校やHPからも配信し広く普及を図る。

(3) 前年度までの取組概要・成果と本事業との継続性

(平成26年度事業)

・取組概要

- ①日本型コンシェルジュの必要性や役割を明確にするための調査を行った。
 - ・宿泊業のグローバル化を図る際に、良いコンシェルジュの存在が、ホテルの人気を高め、リピーターを生み、ホテルのブランディングに強く寄与することが分かった。
 - ・現状は、レ・クレドールの会を筆頭とする、欧米型のコンシェルジュは、日本に数人しかおらず、日本の宿泊業には欧米型ではない日本独自のコンシェルジュを置く必要がある。
- ②調査結果を基に、日本型コンシェルジュ育成カリキュラム・シラバスを開発した。
- ③日本型コンシェルジュの基礎知識を学ぶための教材を開発した。
- ④インターンシップ評価モデルおよび達成度評価基準を検討した。
- ⑤①の調査結果を基にコンピテンシーディクショナリーを開発した。
- ⑥コンピテンシーを計測するためのコンピテンシーカードソートを開発した。
- ⑦上記③の教材の検証をするための授業を行った。
- ⑧本事業を普及していくためにHPを開発した <http://26monka-itaku.net/kanko/anabuki/>

・事業成果

- ①コンシェルジュの基礎知識習得教材は、検証授業実施により、教材の体裁やビジュアルな教材の必要性があることが分かった。
- ②コンピテンシーディクショナリーおよびカードソートは、81の行動特性の抽出を終了し検証段階にある。また、平成27年度前半で、これを調査・検証し、平成27年後半に実際に実践する必要がある。

・成果物

- ①コンシェルジュコンピテンシーディクショナリー
- ②コンシェルジュの基礎知識習得教材「日本型コンシェルジュの世界」
- ③インターンシップ標準モデル達成度評価基準
- ④事業報告書
- ⑤コンシェルジュコンピテンシーカードソート(追加開発)

(4) 事業の成果目標

期待される活動指標(アウトプット)・成果目標及び成果実績(アウトカム)

■活動指標

- キャリアコンピテンシー視察調査(国内2施設)
- コンシェルジュコンピテンシーディクショナリー評価(国内業界10施設)
- コンピテンシーカードソートおよび活用マニュアル・ビデオツールの検証、開発、実践
- コンシェルジュ知識習得教材(冊子)およびビデオ教材の検証、開発、実施

■成果実績予測

- コンピテンシーディクショナリーおよびコンピテンシーカードソートの利用4校120名
- コンシェルジュ知識講座実施、3校各100名程度で実施
- 事業成果報告会開催、参加予定30名
- 平成28年度以降に専門学校・大学での正規課程として導入予定5校

(5) 事業の実施内容(※本事業の運用方針及び基本方針等を踏まえ具体的な取組内容を記載すること)

① 会議(目的、体制、開催回数等)

○実施委員会

目的 : 事業方向性の検討、実施内容の承認
体制 : 専門学校、大学、企業、団体等21名体制
開催回数: 2回(8月、2月)

○調査・開発委員会

目的 : 国内外におけるコンシェルジュ関係調査および開発、検証を担当
体制 : 専門学校、大学、企業等17名体制
開催回数: 3回(8月、10月、2月)

○事務局会議

目的 : 事業推進のための調整
体制 : 事務局等
開催回数: 2回(7月、2月)

② 調査等(目的、対象、規模、手法、実施方法等)

○国内のコンシェルジュに対する訪問調査

目的 : 平成26年度に開発したコンピテンシーディクショナリーの検証と
キャリアコンピテンシーの強化を図るための情報を収集する。

対象と規模: 北海道、佐賀

手法 : インタビュー

実施方法 : 委員会委員3名によるインタビュー、アテンドは外部業者に依頼

<p>③ モデルカリキュラム基準、達成度評価、教材等作成(目的、規模、実施体制等)</p> <p>○コンシェルジュコンピテンシーディクショナリー</p> <p>目的 :コンシェルジュとして求められる能力等を整理し、その内容を取りまとめる。</p> <p>実施方法 :②④の調査結果等を踏まえ、委員会委員および一部外部業者に執筆を依頼し、委員会で決定</p> <p>概要 :コンシェルジュとして求められる行動特性を取りまとめてディクショナリーとして整理する。</p> <p>○コンシェルジュコンピテンシーカードソート</p> <p>目的 :上記コンピテンシーを計測するためのツール</p> <p>実施方法 :②④の調査結果等を踏まえ、委員会委員および一部外部業者に開発を依頼し、委員会で決定</p> <p>概要 :上記コンピテンシーディクショナリーに記載されている各要素を、自己評価しながら成長の度合いを確認するためのアクティブなツール</p> <p>○コンシェルジュコンピテンシーカードソート活用マニュアルおよびビデオツール</p> <p>目的 :上記のディクショナリーおよびカードソートの活用と普及を促進する</p> <p>実施方法 :②④の調査結果等を踏まえ、委員会委員および一部外部業者に開発を依頼し、委員会で決定</p> <p>○コンシェルジュの基礎知識習得教材(冊子)</p> <p>目的 :コンシェルジュを目標としている学生に対し、習得しておくべき知識を身に着けさせる</p> <p>規模 :15時間相当の講座を想定したテキストを開発</p> <p>実施方法 :②④の調査結果等を踏まえ、委員会委員および一部外部業者に執筆等を依頼し、委員会で決定。また、本校社会人教育部の協力を得て社会人に対しても授業を展開し、その検証結果も参考に内容をリニューアルする。</p> <p>概要 :前年度に開発した教材の検証結果を踏まえ、「日本文化理解」、「海外文化理解」の原稿を付加するとともに、「立ち居振る舞い」の部分の新設を検討する。</p> <p>○コンシェルジュの基礎知識習得教材(ビデオ)</p> <p>目的 :コンシェルジュを目標としている学生に対し、習得しておくべき知識を身に着けさせる</p> <p>規模 :15時間相当の講座を想定したビデオ教材を開発</p> <p>実施方法 :②④の調査結果等を踏まえ、委員会委員のシナリオを基に外部業者に開発を依頼し、委員会で決定</p> <p>概要 :上記コンシェルジュの基礎知識をビデオで学ぶ教材。ビデオと教材をセットで利用。なお、このビデオの教材は、平成28年度には社会人を対象とした学び直しに利用することを考えており、将来的にはe-learningのビデオコンテンツとして利用を予定。</p>
<p>④ 実証等(目的、対象、規模、時期、手法、実施方法等)</p> <p>○教員向けコンピテンシーカードソート活用講習会</p> <p>目的 :コンピテンシーカードソートの利用方法を理解する</p> <p>対象、規模:5校、専門学校教員10名 (3時間程度)</p> <p>時期 :平成27年12月</p> <p>手法 :座学+ビデオ</p> <p>実施方法:ツール開発者が講師となり利用方法やアウトプットの活用方法を解説。ビデオ教材も併用する。</p> <p>○コンシェルジュ基礎知識習得講座</p> <p>目的 :コンシェルジュとして基礎知識の習得を目指す。</p> <p>対象、規模:1校、専門学校生50名 (15時間程度)</p> <p>時期 :平成27年12月</p> <p>手法 :座学+ビデオ</p> <p>実施方法:教材開発者および担当校が講師となり講座実施、ビデオ教材も併用する。なお、授業は本校ブライダル・ホテル学科の正規授業として実施する。</p> <p>○コンシェルジュ基礎知識習得講座(抜粋版)</p> <p>目的 :本年度開発する教材の他地域での有効性を検証する。</p> <p>対象、規模:2校(沖縄、新潟)、専門学校生各校20名 (4時間程度)</p> <p>時期 :平成27年12月</p> <p>手法 :座学+ビデオ</p> <p>実施方法:教材開発者および参画校が4時間程度の抜粋講座およびビデオの有効性を検証</p>

(6) 事業成果及び事業終了後の方針(成果の活用、継続性・関連性、発展性 等)

<p>(事業成果物)</p> <p>①コンシェルジュコンピテンシーディクショナリー(50頁 200部) ・昨年度のディクショナリーを検証し、最終版として作成</p> <p>②コンシェルジュコンピテンシーカードソート(1式 200セット) ・昨年度のカードソートを検証し、最終版として作成</p> <p>③コンシェルジュコンピテンシーカードソート活用マニュアル(30頁 200部)およびビデオツール(1式 200セット)(新規)</p> <p>④コンシェルジュの基礎知識習得教材(冊子)(150頁 400部) ・昨年度の教材にビジュアル部分をプラスして、理解しやすい教材としてリニューアル</p> <p>⑤コンシェルジュの基礎知識習得教材(ビデオ)(1式 200セット)(新規)</p> <p>⑥事業報告書 (100頁、200部)</p> <p>(成果の活用等)</p> <p>①事業成果を周知するためHPから公開する。</p> <p>②事業成果を周知するために成果物(①～⑥)を郵送にて配布(教育関係200校)</p> <p>③上記①～③は、まずは本校の就職実践授業にて活用し、その活用実績を公開する。</p> <p>④上記④は、本校プライダルホテル科の「コンシェルジュ論」として活用する。また、新潟・沖縄において他地域での利用についても挑戦する。</p> <p>⑤当学園の社会人教育部門で厚生労働省の基金訓練において教材を使用</p> <p>⑥上記のように当校にて実際に教材等を利用し、その結果を公開・共有することや他校、社会人教育を行っている事業者等にも積極的に普及を図り、継続的にこの人材の育成を行うためのしくみを作る。</p>

(7)「女性の学び直し」に対応した取組内容等

<p>(事業実施体制、プログラム構成、環境配慮等、女性の学び直しに対応する取組内容等)</p>

※「3. 申請する職域プロジェクト」で、「女性の学び直し」対応欄
にチェックを入れた場合に記入

平成27年度「成長分野等における中核的専門人材養成等の戦略的推進」事業 事業計画概要 (様式1)(別紙4)①
 【職域プロジェクトA(観光分野)】「訪日外国人等受け入れに対応する日本型コンシェルジュ育成事業」
 (専門学校穴吹ビジネスカレッジ)

課題・ニーズ・背景・目的

○課題・ニーズなど

円安、格安航空会社(LCC)の台頭、入国手続きの緩和、東京オリンピック招致等を起因として我が国を訪問する外国人は平成26年度に1340万人を超えた。香川県においても、これまでの国際航空便であるソウル線に加え、上海線、台北線が相次いで就航したことや「瀬戸内国際芸術祭」をはじめとする現代アートに対する関心の高まりから平成25年4～6月期において外国人宿泊者は17,190人で前年同期と比較して61.4%の増加が確認され、順調に推移していると言える。

しかしながら、香川県を訪れる旅行者の傾向は、70%以上が日帰り客となっており、日帰り客は1人につき6200円程度、宿泊客は約4倍の2万5000円程度の経済効果が見込めるため、宿泊業の魅力を増し、滞在型・着地型観光の強化が望まれる。

本事業では、日本型コンシェルジュを地域の文化や産業等を理解し、本県を訪れるお客様のニーズとの連携役としてこの人材を位置づけ、この人材を地方都市ホテル、旅館、リゾートホテルやビジネスホテルのフロント要員などにも導入することを目指している。

○本事業実施にあたり、平成26年度までの実施事業成果活用

・平成26年度に開発したコンシェルジュ知識教材を今後さらに、写真、イラスト、図表等のわかりやすい解説を追加することにより教材の充実を図る。また、ビデオ等のコンテンツによる解説を追加することにより、本校はもろろんのこと県内全体に普及させるとともに、他県での波及についても積極的に挑戦する。

・平成26年度に開発したコンピテンシーディクショナリーは、ディクショナリーの要素について調査・検証するとともにカードソートの利用活用方法を示すための解説書およびビデオ教材を開発する。

平成27年度の具体的な取組内容

①調査

- ・国内のコンシェルジュに対する訪問調査
- ②モデルカリキュラム基準、達成度評価、教材開発
 - ・コンシェルジュコンピテンシーディクショナリー
 - ・コンシェルジュコンピテンシーカードソート
 - ・コンシェルジュコンピテンシーカードソート活用マニュアルおよびビデオツール

- ・コンシェルジュの基礎知識習得教材(冊子)
- ・コンシェルジュの基礎知識習得教材(ビデオ)

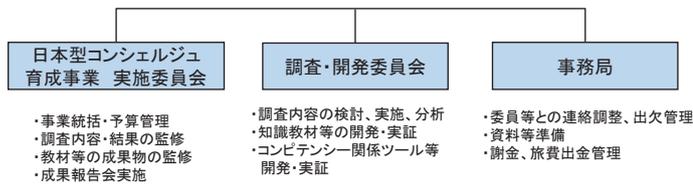
③実証等

- ・教員向けコンピテンシーカードソート利用解説
 - 対象、規模：5校、専門学校教員10名、時期：平成27年12月
- ・コンシェルジュ基礎知識習得講座
 - 対象、規模：1校、専門学校生50名、時期：平成27年12月
- ・コンシェルジュ基礎知識習得講座(抜粋版)
 - 対象、規模：2校(沖縄、新潟)、専門学校生各校20名、時期：平成27年12月

④成果物の普及活動

- ・情報系専門学校 200校、関係企業等300社へ郵送配布
- ・ホームページ上で成果物を公開する

実施体制イメージ図



参加・協力機関

○教育機関

学校法人穴吹学園、学校法人浦山学園、専門学校インターナショナルリゾートカレッジ、学校法人麻生塾、国際外語・観光・エアライン専門学校、成城大学、川村学園女子大学

○産業団体・企業・関係団体等

ホテル川六エルステージ、ホテルモアナコースト、高松国際ホテル、JRホテルメント高松、ALICE in TAKAMATSU by Queen Alice、御園旅館、喜代美山荘花樹海、オフィスアトランダム、ホスピタリティ研究所H-1、有限会社ザ・ライスマウンド、香川県農業生産流通課

平成27年度「成長分野等における中核的専門人材養成等の戦略的推進」事業 事業計画概要 (様式1)(別紙4)②
 【職域プロジェクトA(観光分野)】「訪日外国人等受け入れに対応する日本型コンシェルジュ育成事業」
 (専門学校穴吹ビジネスカレッジ)

成果目標(アウトカム)

本事業は、訪日外国人に対し、香川県の食文化「うどん」や国際アート振興地域という特性を生かしながら、安心して、快適に、滞在できる宿泊環境を提供するための日本型コンシェルジュの育成を図り、もって香川県の観光振興に寄与することを目的とする。

このことを実現するために、昨年度開発・テストした日本型コンシェルジュ育成教材をカスタマイズし、その教材を利用した講座を開講する。また、日本型コンシェルジュとしての技術・知識といった「スキルコンピテンシー」に加え、そのベースとなる「キャリアコンピテンシー」(資質、素養、態度)を開発するためのプログラムを構築し、実践する。

成果目標は以下のとおり。

- コンピテンシーディクショナリーおよびコンピテンシーカードソートの利用 4校120名
- コンシェルジュ知識講座実施、3校各100名程度で実施
- 事業成果報告会開催、参加予定30名
- 平成28年度以降に専門学校・大学での正規課程として導入予定5校

活動指標(アウトプット)

- キャリアコンピテンシー視察調査(取組①)
 - 平成26年度に開発したコンピテンシーディクショナリーの検証とキャリアコンピテンシーの強化を図るための情報を収集する。(国内5施設)
- コンシェルジュコンピテンシーディクショナリー(取組②)
 - 昨年度のディクショナリーを検証し、最終版として作成(50頁 200部)
- コンシェルジュコンピテンシーカードソート(取組②)
 - ・昨年度のカードソートを検証し、最終版として作成(1式 200セット)
- コンシェルジュコンピテンシーカードソート活用マニュアルおよびビデオツール(取組②)(マニュアル 30頁 200部)(ビデオ 1式 200セット)
- コンシェルジュの基礎知識習得教材(冊子)(取組②)
 - 昨年度の教材にビジュアル部分をプラスして、理解しやすい教材としてリニューアル(150頁 600部)
- コンシェルジュの基礎知識習得教材(ビデオ)(取組②)
 - (1式 200セット)
- 教員向けコンピテンシーカードソート利用解説(取組③)
 - 対象、規模：5校、専門学校教員10名
- コンシェルジュ基礎知識習得講座(取組③)
 - 対象、規模：1校、専門学校生50名
- コンシェルジュ基礎知識習得講座(抜粋版)(取組③)
 - 対象、規模：2校(沖縄、新潟)、専門学校生各校20名

平成27年度の成果の活用

- ①事業成果を周知するためHPから公開する。
- ②事業成果を周知するために成果物を郵送にて配布(教育関係200校)(企業関係300社)
- ③コンシェルジュコンピテンシーディクショナリー、コンシェルジュコンピテンシーカードソート、コンシェルジュコンピテンシーカードソート活用マニュアルおよびビデオツールは本校の就職実践授業にて活用し、その活用実績を公開する。
- ④コンシェルジュの基礎知識習得教材(冊子)は本校プライダルホテル科の「日本型コンシェルジュ論」として活用する。また、新潟・沖縄において他地域での利用についても挑戦する。
- ⑤当学園の社会人教育部門で厚生労働省の基金訓練において教材を使用
- ⑥上記のように当校にて実際に教材等を利用し、その結果を公開・共有することや他校、社会人教育を行っている事業者等にも積極的に普及を図り、継続的にこの人材の育成を行うためのしくみを作る。

平成27年度「成長分野等における中核的専門人材養成等の戦略的推進」事業 事業計画概要 (様式1)(別紙4)③
 【職域プロジェクトA(観光分野)】「訪日外国人等受け入れに対応する日本型コンシェルジュ育成事業」
 (専門学校穴吹ビジネスカレッジ)

	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度以降
①全国版モデルカリキュラム開発						
②全国版モデルカリキュラム実証						
③地域版モデルカリキュラム開発				→		
④地域版モデルカリキュラム実証				→	→	
⑤全国的な展開への取組						→
それぞれの年度における成果				平成25年度に学校法人浦山学園がおこなったコンシェルジュに関する調査結果をもとに地域版コンシェルジュ育成事業としてプロジェクトを設置。いかがアウトプット。 ①コンシェルジュコンピテンシーディクショナリー ②コンシェルジュの基礎知識習得教材 ③インターンシップ標準モデル達成度評価基準 ④事業報告書 ⑤コンシェルジュコンピテンシーカードソート(追加)	・平成26年度開発したコンピテンシーディクショナリーおよびカードソートは平成27年度前半で、これを調査・検証し、平成27年後半に実際に実践する。 ・コンシェルジュの基礎知識習得教材は検証結果を踏まえて内容を精査するとともにリニューアルし、ビデオ教材を新規に開発。検証のため実証講座を実施する。	平成28年度は社会人を対象とした学び直しに利用することを考えており、将来的にはe-learningのビデオコンテンツとして利用を予定。